

第1回魅力発信チーム実行委員会 報告

日時 令和4年5月18日(水) 午後6時～7時30分 場所 4-1会議室

参加者 委員10人

- 1 あいさつ
- 2 自己紹介 名簿順に自己紹介
- 3 実行委員会の目的 条例の前文を読み上げ条例の概略を説明。実行委員会のイメージを説明。
- 4 今後のスケジュール

※どんな事業をやりたいかそれぞれ意見をだしてもらった。

- ・広報やいいじゃんしんしろはお金がかかるのか→無料
- ・今あるイベント(軽トラ市・スポーツ大会とか)に乗っかかると福祉に関係ない人に知ってもらうことができる。→次回までに新城市内のイベントを確認する
- ・市民に福祉のなにを伝えたいのか、どういふことを伝えたいのかを絞る必要がある。
- ・ピアゴのエスカレーターに目隠しして上がるなど、疑似体験できる場合は工夫すればいろいろある。
- ・危険箇所ポスターみたいに「この中にどんな福祉が潜んでいるでしょうか」などのチラシとか
- ・条例関連のPR看板とか
- ・東三河ボランティア協議会の福祉フェアの新城バージョン的なイベントとか
- ・写真や映像(動画やキックバックが効果的)のコンテストとか
- ・いろんなイベントで写真展や疑似体験ができるといい。
- ・中高生向けのイベント(東郷中学校などで実施していた)
- ・ちょいボラの紹介
- ・プロのカメラマンによる写真や動画(1分間の動画に30万円かかったが映像は素晴らしかった)
- ・中学校の福祉教育は昔と比較して進んでいるが、福祉の仕事を選ばない人は増えている。求人しても人が来ない。子ども達が職業体験をする前に福祉の職業を発信できるといい。学校の道徳?の授業で子ども達にみてもらえるような動画(教材)ができるといい。
- ・ハローワークに求人募集しても応募がなかったが、事業所のホームページに職場の動画を載せたら楽しそうだといい2人が応募してくれた。楽しいことが人を繋げる。
- ・福祉の仕事にやりがいをもって従事できることは大切。離職も多いのでなんとかしたい。
- ・JCで中学生が企業の職場を動画撮影するなどの企画をやっている。中学生が動画発信することで関心をもってもらうことができるのではないか。 等

(1) 令和5年度に実施したい事業(予算等)

写真コンテストなど発表できるイベントの場の確保(文化会館とか)

コンテストの賞品などの予算

福祉の職場紹介の動画作成(中学生の動画作成とか、編集をプロに頼めるか)

各種イベントでの魅力発信PRグッズ?の作成

(2) 本年度実施したい事業

いまのところ12月18日(日)文化会館予定 写真コンテストや動画紹介

◎チームのLINEグループ作成 次回は6月を予定